

新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

令和2年6月11日

施設名：市立図書館

1. 3密の回避

1 換気設備の設置等（「密閉」）の回避

- (1) 館内の窓を30分に1回、5分程度、2方向の窓を全開する。
- (2) 玄関自動ドアは原則常時開放する。

2 施設内の混雑緩和（「密集」）の回避

- (1) 入館回数は午前2回、午後2回とし、1回の利用時間は1時間以内とする。
 - ・午前9時30分～午前10時30分・午前11時～正午
 - ・午後1時30分～午後2時30分・午後3時～午後4時1回の入場者の制限は以下のとおりとする。
中央35人程度、八田・甲西20人程度、白根・わかくさ15人程度、芦安1人程度。
- (2) 一家族1日1館1回までとし、出来るだけ少人数での利用をお願いする。
- (3) 朗読会、お話し会等のイベントは開催しない。
- (4) 近距離での会話や発声を避け、最低1mの対人距離を確保する。
館内では密集にならないよう職員が必要に応じて巡回する。

3 人と人との距離の確保（「密接」）の回避

- (1) 人と人が対面する場合は、アクリル板、透明ビニールで遮蔽するとともに、誘導線・張り紙等で整列時の人と人との間隔を確保する。

2. 体調確認の徹底

1 体調のチェック

- (1) 職員に対して、業務開始前に、検温・体調確認を行う。発熱（37.5℃）や軽度であっても風邪（せきやのどの痛みなど）、嘔吐、下痢用の症状がある場合には、出勤を停止する。
- (2) 入館者に対して、発熱（37.5℃）や軽度であっても風邪（せきやのどの痛みなど）、嘔吐、下痢用の症状がある場合には、入館をしないように呼びかけるとともに、入口で入館者への体調確認を行う。
- (3) 自宅で検温をしなかった入館者には入口で検温を行う。

3. 飛沫、接触感染防止対策

1 マスクの着用、手指の消毒の実施

- (1) 職員はマスクを必ず着用するとともに、入館者に対してもマスクの着用を周知する。
(マスクの着用が無い場合は入館を遠慮してもらう)
- (2) 利用者対応する職員は、マスク着用と併せてゴム手袋、フェイスシールドを着用する。
- (3) 職員は定期的に、利用者は入館時に、手指の消毒を実施する。
(入口に消毒液を設置)

2 清掃・消毒の実施

- (1) 不特定多数の人が接触する場所（テーブル、ドアノブ、電気のスイッチ、電話、蛇口、手すり、トイレの便座、洗浄レバー等）は定期的に清拭消毒する。
- (2) 入館者向けの館内のゴミ箱は撤去する。残されたゴミを片付ける際に、鼻水や唾液などが付いている可能性がある場合は、マスク、手袋を着用し、ビニール袋に密閉して捨てる。回収後は石けんで手を洗う。
- (3) 返却された資料は表面を消毒したうえで、感染力低下時間を考慮し、返却されてから2日間は貸出しない。

3 トイレの衛生管理の徹底

- (1) 蓋を閉めて汚物を流すように張り紙で周知する。

4 休憩スペースのリスク軽減

- (1) 一度に休憩する人数を減らし、長時間の利用を避けるよう周知する。
- (2) 常時換気を行い、共有する物品は定期的に消毒する。

4. 県外在住者の利用制限（県外からの利用者の入館拒否）

○利用者は、南アルプス市に在住、在勤、または在学している者に限定する。在勤者、在学者の確認は予約時に行う。

5. ガイドライン遵守の確認

○ガイドラインを遵守することとし、各項目についてチェックリストを作成し、毎日の確認を行うと共に、施設所管課へ（一週間分）チェックリストを提出する。